

農林水産大臣 齋藤 健 様

この度の農林水産大臣への御就任を心からお祝い申し上げます。

また、本年2月、鳥インフルエンザが当県において発生した際、来佐され、現場の状況把握や防疫など迅速な対応をいただき、改めてお礼申し上げます。

さて、当県は、豊かな自然環境の恵みにより第一次産業を中心として発展してまいりました。中でも、有明海は、豊穡の恵みをもたらす宝の海であり、漁業者の皆さんは代々その恵みに感謝しながら、ノリ養殖、タイラギ漁、アゲマキ漁、アサリ漁などを生業としてきました。

しかしながら、現在の有明海は、平成12年のノリ不作をはじめとしてかつての豊穡の姿を失い、赤潮や貧酸素水塊の頻発などの環境変化により水産資源は減少し、後継者も育たず先が見えないなど、漁業者は将来に不安を抱えています。有明海を再生してほしい、宝の海を取り戻したいという漁業者の切実な思いを強く感じているところです。

このような中で、国、有明海沿岸4県、漁業者など関係者による連携した取組により、近年、アゲマキやアサリ、ウミタケに回復の兆しが見えてまいりました。この好機を逃さず必要な取組を拡充・強化し、有明海の再生につなげることが必要です。

そのためにも、まずは早期に大臣自ら来佐いただき、是非とも一緒に船に乗って、漁業者と同じ目線で今の有明海の現状を感じていただきたく存じます。

漁業者をはじめ我々の願いは、ただただ有明海の再生です。そのことは、国も同じだと思っておりますので、何とぞ来佐いただくよう、よろしく願いします。

平成29年8月28日

佐賀県知事 山口 祥義